

筑波大学農林技術センター八ヶ岳演習林を構成する樹木の幹成長の季節変化  
清野達之（筑波大学・生命環境・八演）

2008年より筑波大学農林技術センター八ヶ岳演習林を構成する樹種に成長バンド（デンドロメーター）をかけ、樹木の幹成長の季節変化と年次変化を追跡した。対象樹木は、八ヶ岳演習林で優占する樹種10種で、成長期間に月に一度のペースで、幹成長の幅と展葉・落葉の様子を記録した。

まずは基本的な構成種の幹成長のパターンを紹介する。2009年は冷夏、2010年は猛暑であった。年次によって気候条件が異なっていて、それらに対する樹木の成長応答について触れる予定である。